

# 島間の風

「元気登校！ 満足下校！ ひとみ輝く島間っ子」

児童数30名 教職員数11名

発行責任者 校長 南 健

## 輝いた子供たち

校長 南 健

去る9月17日（日）、晴れ渡る秋空のもと、第18回島間小学校・島間地区合同運動会を実施することができました。5年ぶりとなる、久しぶりの地区との合同運動会でした。保護者の皆様をはじめ、地域の多くの方々から熱い声援を受け、子供たちは、スローガンである「つむいだ絆で一致団結 ロケットに乗って優勝まで一直線」のもと、持てる力を存分に発揮しました。

前日までの駐車場の除草作業や緑門設置、そして、当日までの子供たちの健康管理や会場の後片付け等、保護者や地域の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

学校の教育活動には多くの学校行事があります。子供たちを見ていますと、一つ一つの学校行事を体験していくたびに変わっていくようです。また、そうでなければなりません。それは学校行事がふだんの学びの節目となるもので、総合的な活動を伴うものだからだと思います。特に運動会のような大きな学校行事は、事前の学習（練習）を積み上げていきます。それは目的を達成し、よい結果を生むためのものではありませんが、むしろ、その行事に至るまでの過程でいろいろなことを学ぶことができます。きっと、子供たちは競技や演技本来の技能を高めながら、同時に、集団行動のきまりや自主的な態度と行動力、思いやりや協力する態度、最後まで頑張ること、責任を果たすこと等々、いろいろなことを学び、身に付けたことと思います。

先日の南日本新聞の「若い目」に、6年生の高木美夜さんの作文が掲載されました。作文には、最後の紅白リレーで、目の前で転んだライバルであり、仲間でもある友達に対してとっさにとった自分の行動が果たしてどうだったのかを振り返る中で、担任の涙しながら語りかける言葉に、みんなで全力を尽くし、がんばってやり遂げたのだという成就感へと確信を得ていく様が表現されていました。結果にとらわれることなく、そこに至るまでの過程の大切さに気付いてくれたことを大変うれしく思います。

最後の紅白リレーで起きた「神様のいたずら」は、学級の絆をより強いものにし、子供たちの成長を促すための試練であったのだと、作文を読みながら感じずにはおれませんでした。

子供たちが成長する中での小学校生活6年間、その中での貴重な一日一日であることを肝に銘じながら、今後も学校教育の充実を図ってまいります。

これからも、多くの学校行事があります。子供たちは、次の節目に向かって歩き始めています。今後とも保護者の方々の励ましと御支援をよろしくお願いします。



とっさにバトンを拾う

島間小6年 高木 美夜

今年の運動会は、今までとは違った。私が応援団長を任された白組が優勝したけど、うれしい気持ちになれなかった。

閉会式の後、教室に帰ると、親友で赤組応援団長の杏奈さんが涙を流していた。他にも何人か泣いていた。私も杏奈さんも応援団の練習をがんばった。いや、彼女の方が努力していた。しかし、最後の紅白リレーで、神様のいたずらが起きた。1位で走っていた杏奈さんがゴール寸前で転んだのだ。後を追う私はこのままゴールしていいのか、助けた方がよいのかまよった。

とっさに落ちているバトンを拾い、立ち上がる杏奈さんに渡して一緒にゴールした。でも心に何か引っかけた。帰りの会で先生が涙をうかべながら、「みんなががんばった。全力を尽くした姿は最高でしたよ」と話してくださった。

確かに、私たちは全力で練習も本番もがんばった。胸を張っていいと思う。そして、みんなが一日も早く立ち直ってほしい。

# 5年ぶり!!島間小学校・島間地区合同大運動会開催

児童会スローガン「つむいだ絆で一致団結!ロケットに乗って優勝まで一直線!!」

今年度の運動会は、5年ぶりの地域との合同で開催されました。コロナ禍以前のように地域の種目も盛りだくさんに行われ、昼食を挟んでの正に大運動会となりました。何よりも、秋晴れの中で学校と地域が一つになって、笑顔あふれる運動会になったことを喜びたいと思います。子供たちは元気いっぱい全力で走り、全身で表現し、一人一人の心に残る思い出深い運動会となりました。保護者や祖父母の皆様、地域の方々に温かい声援や協力をいただき、心から感謝申し上げます。併せて、前日までの準備や当日の後片付け等御協力くださいましたPTA・地域の皆様にも心から感謝し、お礼申し上げます。ありがとうございました。PTA会員永松さんに運動会の写真データを提供していただきました。各集落の公民館にも掲示させていただきます。ぜひ、ご覧ください。



## 相撲取り

上方集落の「十二提灯」に代わり、今年度から田尾集落の「相撲取り節」を披露させていただきました。子供も職員も初めての挑戦でしたが、田尾集落の指導者の方々のおかげで、踊りや歌を覚え、堂々と大きな声で発表することができました。心より感謝申し上げます。学校の練習以外でも、休み時間や放課後、児童クラブでも子供たちの歌が聞こえ、踊る姿が見られました。ご家庭でも歌や踊りを見せてくれた子供も多かったのではないのでしょうか。



相撲取り節

## 【全国学力・学習状況調査】(6年生対象)

4月に行われた全国学力・学習状況調査の結果を分析、対策を検討し、事後指導に取り組んでいるところです。これは、5年生までに学習した内容についての定着度を調べるための調査で、国語・算数が全国一斉に行われました。

本年度の本校の結果は、次の通りでした。(県平均通過率を100とした時の値)

国語	県平均を100としたときの島間小の値	算数	県平均を100としたときの島間小の値	
全体	106	全体	92	
言葉の特徴や使い方に関する事項	126	学習指導要領の領域	A 数と計算	85
A 話すこと・聞くこと	121		B 図形	105
B 書くこと	114		C 変化と関係	98
C 読むこと	77		D データの活用	83

## 交通安全無事故記録8,000日達成!

「交通安全宣言の学校」として、平成13年10月1日に宣言をしてから、8月26日で8,000日となり、9月9日(土)に「8,000日達成記念集会」を行いました。記念集会では、交通安全協会会長の柳田博さん、種子島警察署交通課長の久保隆博さんにお祝いの言葉をいただき、PTAからは、記念の鉛筆が子どもたちに贈られました。また、日頃から登校の見守りをしてくださっている方々へ、感謝の気持ちを込めた子供たち全員からのメッセージカードを手渡しました。8,000日は一つの通過点として、これからも子供たちが安全に毎日を過ごし、島間地区全体で交通安全意識の輪が更に広がることを願っています。



## 【南種子町作文コンクール】 入選・特選おめでとう!

- 特選1年 小山 結楽 「わたしとあかちゃんうし」
- 特選2年 徳武 羽奏 「ヤドカリの大こうぶつ」
- 特選4年 松村 玲皇 「ぼくの大すきなお姉ちゃん」
- 特選5年 日高 咲希 「伝えていきたい」※地区特選 県審査へ
- 入選3年 西園 望夢 「はじめてのシーカヤック」
- 入選6年 西園 穂花 「私と水泳」

## 【南種子町理科作品コンクール】

- 特選2年 徳武 羽奏 「ヤドカリはどのポップコーンがすき？」
- 入選4年 浮田 絆衣 「お茶の色の変わり方」
- 入選4年 永松 千佳 「牛乳でプラスチック」
- 入選4年 濱上 煌成 「カナヘビのかんざつ記録」
- 入選5年 徳武 芽依 「透明な水を作るには？」
- 入選5年 日高 咲希 「海はなぜ青いの？」
- 入選5年 松下 菜穂 「水が早く氷になる方法」
- 入選6年 西園 穂花 「シャボン玉」

## 10月の行事予定

10/3(火)	避難訓練(火災)
10/6(金)	就学時健診
10/8(日)	第66回町民大運動会
10/12(木)	町小学校陸上記録会8:50~12:00
10/20(金)	秋の校外学習(1~6年)中種子方面
10/27(金)	町音楽発表会9:20~11:40(南中)